

SU薬の適正使用

2016年7月2日 県連薬事委員会

- 「SU薬の用量は少量処方」を推奨する。

原則 グリメピリドは 上限 2mg まで

グリクラジドは 上限 80mg まで

- ①SU薬は用量依存的に効果が高まる薬剤ではない。
- ②経口糖尿病薬は、現在7クラスとなり治療の選択肢が増えた。
- ③「重症低血糖が危惧される薬剤」日本糖尿病学会 2016 高齢者糖尿病の血糖コントロール目標に含まれており、少量投与で低血糖のリスクを最小化できる。

- グリメピリドの3mg錠を、患者限定薬とする

- DPP-4阻害薬・SGLT-2阻害薬との併用

グリメピリド2mg/日を超えて使用している患者は2mg/日以下に減じる。
グリベンクラミド1.25mg/日を超えて使用している患者は1.25mg/日以下に減じる。
グリクラジド40mg/日を超えて使用している患者は40mg/日以下に減じる。

(インクレチン (GLP-1受容体作動薬とDPP-4阻害薬)の適正使用に関する委員会)